

地域日本語教室を「活気あふれる場」にしたい

地 19 土橋 洋平（高知県 須崎市役所 会計年度任用職員）

設定課題(目標)

- ①毎回のゲスト参加人数 10 人以上
- ②インドネシア関係以外のゲストが 3 人以上参加

高知県須崎市：人口 約 19000 人 外国人 350～400 人

10 月～2 月の「にほんごサロン」の内容と参加状況（赤字は目標が達成できなかったところ）

日付	「にほんごサロン」の内容	インドネシア	その他	合計
10/1	国勢調査記入 or 活動内容希望調査・かぐやひめ（紙芝居）	6	4	10
10/8	個別学習 or おしゃべり	3	2	5
10/15	個別学習 or おしゃべり 天気予報の日本語	5	4	9
10/22	個別学習 or おしゃべり やさしいことばニュース（高市首相）	3	4	7
10/29	ハロウィン・パーティー 人狼ゲーム	3	3	6
11/5	個別学習 or おしゃべり	3	1	4
11/12	個別学習 or おしゃべり	1	1	2
11/19	個別学習 or おしゃべり 大ピンチずかん（みんなの大ピンチ）	2	2	4
11/26	個別学習 or おしゃべり 卓球で交流	3	1	4
12/3	個別学習 or おしゃべり 日本の歌（与作）	7	3	10
12/10	個別学習 or おしゃべり 50：50 ゲーム	6	2	8
12/17	忘年会 借り物競争・坊主めくり	22	5	27
1/7	個別学習 or おしゃべり	1	3	4
1/14	個別学習 or おしゃべり おせち料理試食・おせちの由来	16	4	20
1/21	個別学習 or おしゃべり かさじぞう（読み物・紙芝居）	3	4	7
1/28	個別学習 or おしゃべり ひらがなカードゲーム（しりとり）	2	8	10
2/4	個別学習 or おしゃべり 節分（読解）・豆まき体験・恵方巻試食	4	5	9

※それ以外の参加者は、ほぼ全員アメリカ出身（主に ALT）

※12/17・1/14・2/4 は、バスを運行したり、監理組合に動員をお願いした結果。

集客も簡単やないなあ…



その他の周知・宣伝活動(10月以降)

- ・2 つの漁業事業者を訪問
- ・カンボジア人材を派遣していると思われる香川県の監理組合に連絡
- ・友好 50 周年記念のフィリピン交流イベント（フィリピンの実習生がボランティア参加）
- ・市の広報誌に『須崎で働く外国人インタビュー』（特集記事）を掲載
- ・サロン会場まで遠いゲストのために、バスを運行（下は乗車人数）
（12/17 忘年会 インドネシア 12 名 1/14 おせち料理 インドネシア 10 名 2/4 節分）
- ・チラシの更新と掲示（JR の駅・スーパー・図書館・公民館など）

今後の計画

- ・2月下旬に事業者向け日本語教室利用セミナーを開催（中小企業団体と）
- ・3月上旬にボランティア向け「やさしい日本語」セミナーを開催予定
- ・お花見イベントの開催
- ・警察署や防災課とのコラボセミナー（自転車青切符・地震関係の防災）
- ・毎月の最終水曜日は別会場での開催（新年度より）
- ・英会話親子教室との同時開催を目指す（「地域の学び」として、定期イベント化）

※日本文化紹介などのミニイベント開催、事業所訪問は毎月行いたい。

ポイントは『楽しい』場であること(か?)

10月以降は、外国人のゲストの参加が低調になりました。ゲストの参加が少なくなると、ボランティアの参加も少なくなる、という悪循環になります。それでも須崎市のサロンは、市役所の直営事業であることにより、市役所のサポートが受けられ、銀行の協賛があり（参加5回ごとに地元カフェのコーヒーチケット配布）、一部の事業者や監理組合からの後押しがあるので、人口規模を考えると、ましな方なのかもしれません。

学習や交流がどうあるべきなのか、これは難しいテーマではありますが、やはり『楽しい』と感ずることが持続可能、かつにぎわいのある地域日本語教育になるのではないかと感じています。「また参加したい!!」と思える場になることが、ゲストとボランティアのリピート参加につながり、少しずつ輪も広がっていくのではないかと思います。『楽しい』場であれば、ボランティアが自発的に送迎なども行ってくれると思いますし、送迎が広がれば、「自転車では通えない問題」も解決できます。

ここで言う『楽しい』は、ただ笑うだけのことではなく、「知的に面白い」「居心地がよい」など、いろいろな感情を含みます。須崎のにほんごサロンでは、前半部分をボランティアと個人学習をするか、ボランティアとおしゃべりを楽しむか、どちらかを選ぶやり方を取っていますが、個人学習の部分をもっと充実させることも大事なことだと思っています（現状はゲストが学びたい本を選んで、コピーを取り、ボランティアが学習をサポートするという形）。私だけのアイデアだけで進めるのではなく、ゲストやボランティアの要望や意見を取り入れながら、にほんごサロンを運営していきたいです。

「にほんごサロン」を「市民の学びの場」に発展できないか??

にほんごサロンは、外国人向けの場所ですが、これを市民の学びの場に育てていけないものかなと思っています。『水曜日は市民の学びの夜』として、完全にオープンな形（誰でもウェルカムな形）で、様々なサークル活動が同時開催される、そんな水曜日の夜ができれば、魅力ある地域になるのではないかと思います。必ずしも毎週参加しなくてもよい、週替わりで他のサークルに参加してもよい、そんな夜があれば面白いと思います。私は外国人のみなさんが「にほんごサロン」の他にも楽しめる場所があることが理想的だと思いますし、私自身も、共通の趣味や思いなどを通して、もっと多くの方々と交流してみたいです。

「にほんごサロンを町の魅力につなげていきたい」という思いを持って、運営していきたいです。

こんな町になったら、
楽しいらうね〜😊

